



所沢市立安松中学校

令和8年2月3日 第10号

学校教育目標

- ・自ら学び考える生徒
- ・心豊かでたくましい生徒
- ・礼儀正しい生徒
- ・働くことに喜びをもつ生徒

安松中学校ホームページ⇒

<https://yasumatsu-j.edumap.jp>



「ありがとう」は魔法の言葉

校長 松本 信寿

ついこの前がお正月だったと思っていたら、もう節分、立春を迎えます。季節が進むのは本当に早いものです。2月は、3年生の県公立高校入試、1・2年生の学年末テストがあります。これまで学び、経験を積み、伸ばしてきた自分自身の力を存分に発揮してもらいたいと思います。

さて、1月27日の学校朝会で、「『ありがとう』は魔法の言葉」というお話をしました。この言葉は、地域の方から学校にいただいた年賀状に書いてあったもので、これはぜひ皆さんにも伝えたいと思い、学校朝会のテーマとしました。令和5年に国が定めた教育振興基本計画に「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」という言葉があります。ウェルビーイングとは、短期的な幸福だけでなく、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福のことです。

そこで、幸福を感じことが多い人は、どのような人なのかを調べてみると興味深い調査がありました。人々が感じる幸福と「ありがとう」という言葉には関係性があるかもしれないというのです。その調査によると「ありがとう」を1日に15回以上言う人たちの75%以上は※幸福度8以上だそうです。(※幸福度は1~10で、10が最大)また、1日に10回以上「ありがとう」と言われる人も75%以上の人たちが幸福度8以上だそうです。つまり、「ありがとう」は、言う人も言われる人も幸福にする魔法の言葉だということです。もちろん、個人差はあるので「ありがとう」を言っていなくても、言われてなくても幸福な人もたくさんいます。でも、「ありがとう」と言われれば、やはりうれしいですし、言うと気持ちがよいものだと思います。



さらに別の調査では、「ありがとう」とストレスについて調べていました。1日に「ありがとう」を10回以上言う人たちの75%近くは、ストレスとなったことを2~3日ぐらいで忘れてしまうとのことです。今も昔もストレスとの付き合い方は難しいですが、「ありがとう」の一言で自分のストレスを少しでも軽減することができ、相手も幸せになれるのであれば、こんなに素晴らしいことはありません。

学校だけでなく、家庭でも「ありがとう」という言葉をお互いに使ってみてください。家族や友だち、先生との何気ない会話の中で、自然に「ありがとう」と伝えることができると、きっと温かい気持ちになるのではないかと思います。そういった温かい気持ちが集まって学校全体が優しい雰囲気に包まれることで、誰もが幸せを感じができるのだと思います。

学校評価保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

集計数値やいただいたご意見等に関する回答は、次号に掲載させていただきます。

1月の様子

1月の表彰

ソフトボール部
所沢市ソフトボール協会
会長杯優勝
最優秀選手賞



職場体験発表会(2年生)【1月 15・21 日】

2学期に実施した職場体験についてまとめ、15日はグループ別発表会、21日は学年発表会を行いました。

発表会では、自分の体験を自分の言葉で伝えたり、友だちの体験を聞いたりして、「働くこと」について考えを深めました。発表の中で、働くことは「よい面もつらい面もある」、「責任や覚悟が必要」といった話がありました。どのグループも、職場体験を通して、様々なことをつかんでいました。

また、発表では、職場体験中に行った「事業所の方々へのインタビュー」も紹介していました。お世話になった事業所の皆様に、日々の生活にながるお話や、将来のことを考えるきっかけになるようなお話を聞いていただきました。職場体験にご協力していただいた事業所の皆様には、お忙しい中、生徒たちにあたたかいお言葉をかけてください、改めて感謝いたします。



給食感謝の会【1月 16 日】

生徒朝会を利用して、給食委員会が「給食感謝の会」を行いました。日頃お世話になっている配膳員さんや栄養士さんの仕事について理解を深める貴重な機会となりました。

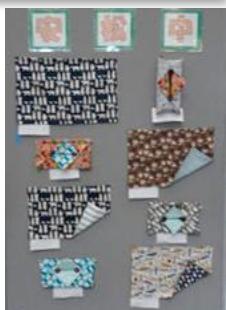
スライドを用いて、献立作成や食材の発注、調理や衛生管理、アレルギー対応など、私たちの給食が多くの方々の努力によって支えられていることが紹介されました。

また、残菜を減らすことの大切さについても呼びかけがあり、日頃の食への感謝の気持ちを行動で表していくという思いが共有されました。



ふれあい作品展見学(6組)【1月 21 日】

6組の生徒が、所沢市役所1階ロビーで開催されている「ふれあい作品展」を見学しました。会場には、市内小・中学校の児童生徒による工夫を凝らした作品が数多く展示されており、生徒たちは一つ一つの作品をじっくりと鑑賞しながら、表現の豊かさや制作の大変さに触れていました。



見学後は航空公園に移動し、広い芝生の中で体を動かしました。心地よい空気の中、仲間と一緒に活動することで、心身ともにリフレッシュすることができました。



家庭教育学級【1月 21 日】

今年度、最後となる家庭教育学級を開催しました。今回は2回目の学校見学ツアード、保護者の方に加え、地域の方も参加しました。

特別教室を中心に見学し、さらに生徒と同じ体験もしていただきました。音楽室では、音楽担当教員から日頃の授業についてお話しし、大きなスピーカーでクラシック音楽を聴きました。図書室では、学校司書から図書室についてお話しし、参加者には自由に図書室を見ました。当日は7名の方にご参加いただきました。いくつか感想を紹介します。

- ・生徒と同じような体験をさせていただき、ありがとうございました。生徒が恵まれた環境で学校生活を送っていることがよく分かりました。
- ・民生委員さんと回り、地域とのつながりを感じることができました。図書室には中学生が好きそうな本がたくさんでした。

〈3月の主な予定〉

- 2日（月）6組三送会
- 4日（水）三送会
- 13日（金）第43回卒業証書授与式
- 19日（木）保護者会（1・2年）
- 24日（火）給食最終日
- 26日（木）修了式（1・2年）